

広 報

# みなみふらの

# 8

2021. AUGUST No.785

- P 2 道の駅「南ふらの」再編整備工事着手
- P 3 防災訓練、避難情報の内容が変わりました
- P 4～5 まちの話題・出来事
- P 6～7 国民健康保険税のあらまし
- P 8～11 町議会定例会 行政報告・教育行政報告P 6
- P 12 南富高新聞、学校だより
- P 13 ほのお
- P 14～15 カメラレポート
- P 16 教育委員会通信
- P 17 子育て支援センターだより  
保育所の元気な子どもたち
- P 18 町の緑化環境の推進を願っての寄附金  
寄附・寄贈

幾寅保育所運動会(6月26日)

# 道の駅「南ふらの」再編整備 工事着手

道の駅「南ふらの」再編整備の工事が6月下旬から着手となりました。この事業は、人口減少、少子高齢化などの地域課題解決に向け、観光資源を活用した地域経済活性化の推進や、平成28年の大雨災害からの復興と災害強靱性の向上、既存施設の老朽化対策など、町の多様な課題を解決するための取り組みとして、平成28年度から町の地域総合戦略の重点事業として進めている事業です。

これまで、新たな取り組みに向け、体験型観光の推進を目的としたアウトドアメーカーのモデル社との協定締結や地域の再生可能エネルギーの活用と災害強靱性の向上を目指した北方スとの協定締結、また、国からの多様な支援を受けるための「重点道の駅」への選定などの準備を進め、今年度より、いよいよ工事が進んでいきます。

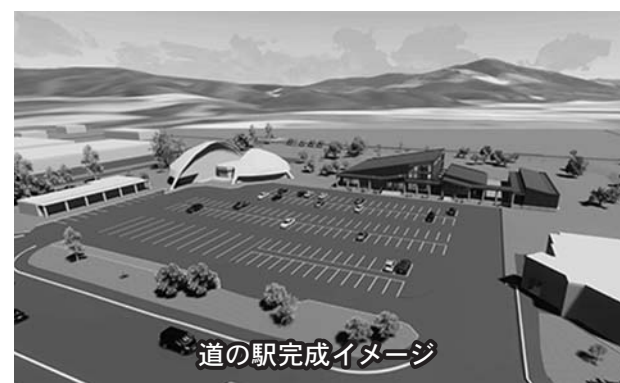
整備の内容については、道の駅エリア全体のコンセプトを貫き、食べる、遊ぶ、憩う、アウトドアとして3つの工区分け、本年度から令和5年度までの3ヶ年をかけて整備する計画であり、今年度は1工区として、販売施設、飲食店舗、屋外型飲食店舗を合わせた複合施設と、国道を挟んだ向かえ側にラベンダー園を整備し、来年6月の一部オープンを目指しています。販売施設についてはアウトドアショップを予定し、さらに施設内にはアウトドア体験ができるボルダリングタワーも整備いたします。

来年度は2工区目として、幾寅農村公園跡地に新たな公園を整備する予定であり、アスレチック遊具やドッグラン、RVパーク、緑地広場などを計画し設計を進めています。

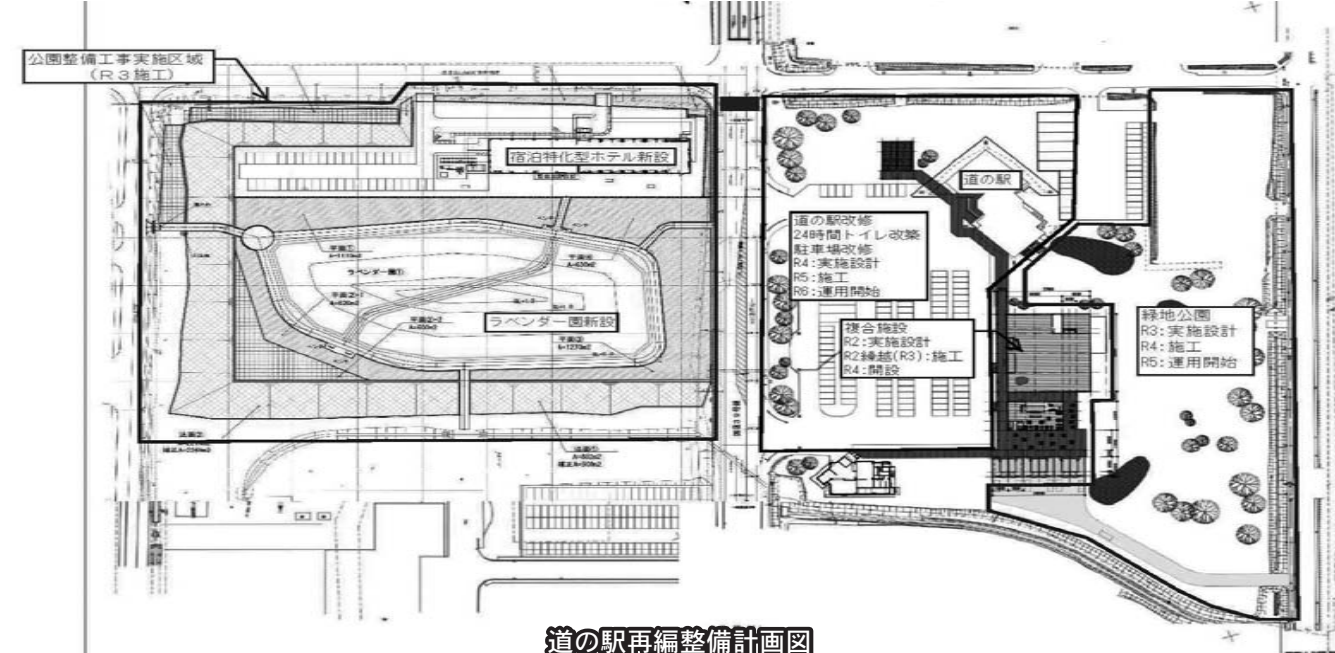
最終年度の令和5年度には、3工区目として、既存の道の駅（物産センター）を改修し、現在の特産品販売エリアの拡充に加え、観光案内機能やバス待合スペースの新設など、多様なニーズに対応できる施設に向け整備を進めており、併せて、24時間トイレの改築、駐車場の全面改修も計画して令和6年度の全面開業を目指しています。

また、この道の駅再編整備と並行して、道の駅近接地には民間投資による宿泊特化型ホテル（3階建・78室）が工事中であり、道の駅再編整備を進めております1工区の事業と同時のオープンを予定しております。

町では、新たに生まれ変わる道の駅を、観光資源を発信するアウトドア体験観光の拠点とし誘客を図り、地域経済の活性化を促進しながら、地域課題である人口減少を食い止めるための重要な取り組みとして大きな期待を寄せています。



道の駅完成イメージ



道の駅再編整備計画図

## 生まれ変わる道の駅1工区 令和4年6月下旬オープン予定

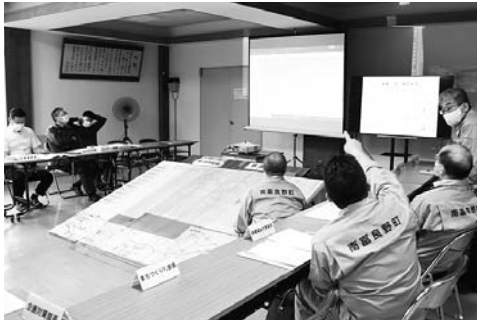
## 令和3年度 防災訓練（災害対策本部訓練）を実施しました

6月25日（金）、昨年度に引続き町職員による防災訓練（災害対策本部訓練）を実施いたしました。

訓練は、富良野警察署、富良野消防署南富良野消防支署、陸上自衛隊第4特科群、空知川河川事務所金山ダム管理支所、富良野市、上富良野町、中富良野町など関係機関にも協力をいただき、各状況に応じた災害対策本部の運営と現地派遣職員の活動を模擬形式で行い、自然災害発生時の防災力向上を目的として実施しました。

訓練当日は、訓練参加者が役場大会議室に集まり、訓練説明を受けた後、大雨による河川及びダムの上昇から、河川は氾濫危険水位に到達しダムでは緊急放流が開始される中、さらなる災害の発生を想定して、災害対策本部では、関係機関との情報共有や対策の意思決定及び指示を行い、また、現地派遣職員は、危険箇所の警戒監視や避難誘導、避難所を開設するシミュレーションを行いました。

今回の訓練を通じ、訓練参加者は場面での対応や活動内容を想定することができ、自然災害発生時の防災力向上を図ることができました。



## 避難情報(警戒レベル)の内容が変わりました

風水害時などに役場から、町民の皆様にお知らせする避難情報（警戒レベル）の内容が本年5月から、次のように変わりました。

警戒レベル3は **高齢者等避難** に

災害の恐れがあるこの段階では、これまで「避難準備」も含まれていましたが、避難に時間がかかるお年寄りや体の不自由な方などが避難をする時期を示す内容になりました。

警戒レベル4は **避難指示** に

災害の恐れが高いこの段階では、これまで「避難勧告」も含まれていましたが、危険な場所から直ちに全員避難をしていただくため「指示」という強い表現に統一されました。

警戒レベル5は **緊急安全確保** に

災害が発生しているこの段階では、これまで「災害発生情報」と表現していましたが、皆様に命を守る行動をとっていただくことを示す表現になりました。

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	さんさゆうあんぜんかくほ <b>緊急安全確保</b> ※1 災害発生又は切迫	<b>災害発生情報</b> (発生を確認したときに発令)
4	ひなんしじ <b>避難指示</b> ※2 災害のおそれ高い	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	こうれいしゃとつひなん <b>高齢者等避難</b> ※3 災害のおそれあり	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

## 旧金山小学校体育館に 避難所機能を整備

この度、旧金山小学校体育館に避難所機能を整備いたしました。

現在のコナナ禍において、金山地区には、3施設を避難所に指定していましたが、2施設については高齢者施設であり、感染症対策において、避難所としての利用は避けるべきとの考えから、金山地区の中心にあり利便性が良く、小学校の閉校場として利用されていた旧金山小学校体育館に、避難所機能を整備することとなりました。

今回の整備により旧金山小学校体育館には、災害時の停電対策として非常用発電機を設置したほか、多目的トイレの新設、給湯室の新設、照明のLED化などを行って、指定避難所としての運用を開始していきます。



非常用発電機の設置



新設したトイレ等

## 厚生労働大臣及び北海道知事 より感謝状 山下勝子さん

7月1日(木)に、永きにわたり民生委員・児童委員として活躍されました山下勝子さん(幾寅)へ、池部町長より厚生労働大臣及び北海道知事からの感謝状の伝達が行われました。

山下さんは、平成22年12月から令和3年3月まで10年と4ヶ月にわたり、民生委員・児童委員として幾寅朝日町・千木町地区を担当し、平成24年5月からは町民生委員・児童委員協議会の監事も務められました。その間、地域の皆さんが気軽に相談できるよう社会奉仕の精神を持って、住民の立場となり地域の生活課題の解決や行政とのつなぎ役として、社会福祉の増進に貢献されました。



今回の受領にあたり山下さんは「諸先輩方のご指導や家族、民生委員・児童委員をはじめ町行政、そして何より地域の皆さまのご理解とご協力によるもので感謝を申し上げます」と述べていました。

## 電子申告(e-tax)を 積極的に活用し感謝状

本町は、令和2年分確定申告において、電子申告(e-tax)による申告書等データの引継を積極的に取り組んだことから、札幌国税局長からの感謝状が贈られ、6月15日(金)に、富良野税務署長が役場を訪れ、池部町長に感謝状が手渡されました。

電子申告は、納税者から町に提出された確定申告書を、税務署に送信することができ、納税者の還付金の早期還付や生命保険料控除証明書の添付省略など、納税者の利便のほか、事務量や経費の削減にもつながり、本町の令和2年分確定申告においては、全体の9割を超える電子申告を行っています。



本町は、さらなる住民の利便性向上と行政事務の効率化を図るため、今後も電子申告を進めていく予定です。

## 落合神社にしめ縄を奉納

落合地域では、落合神社祭に合せ、歴代、鳥居やお社にしめ縄を奉納しています。

今年も神社に、しめ縄を奉納するため、7月10日に、落合連合町内会の皆さんが、落合地区多目的センターに集まり、しめ縄作りが行われました。

しめ縄作りは、スゲ草を小さな束に分け、その束の複数本を、さらにねじり合わせていき、しめ縄を作りますが、高橋貞男さんの指導のもと、みんなで力を合わせて約2時間を掛けて完成しました。また、連合町内会では、このしめ縄の作りの材料であるスゲ草も、毎年場所を変え、肥料を与え刈取り干して用意をしています。

この風習がいつ頃から始まったのかは定かではありませんが、指導していた高橋さんは「若い時、秋田屋(落合地区にあった旅館)のお

じいさんから作り方を教えてもらった」と話されていましたので、おそらく落合神社が建設された明治時代より続いているものと考えられ、40年前位までは、しめ縄作りも町内会ごとに順番で行い、地域の一大行事でありました。

落合地域では、近年、昔から落合に住んでいた人が減り、昔のことを知る人も少なくなりましたが、落合地区の自然環境などの魅力から、落合に住み始めた人も増えていきます。町内会活動などの地域活動も、昔からの住人も新たな住人も一緒に支え、地域の古くから続く風習も継承され引き継がれています。

しめ縄の神社への奉納は、13日に連合町内会の皆さんで、神社の境内の掃除を行い、鳥居とお社に無事しめ縄が取り付けられ、15日の神社祭を迎えていました。



## 歌手石上久美子さん (本町出身) 新曲発売

本町出身の歌手石上久美子さんのCD「人生夢物語」が7月14日、株式会社ホリデージャパンより発売されました。

石上さんは、昭和61年に「津軽のじよっぱり」で歌手デビュー、現在まで数多くの曲を発売、今年でデビュー35周年を迎えます。今回の新曲は、3曲入りで南富良野を題材とした「ど

こ?そこ?南富良野」が収録されています。

新曲発売にあたり、石上さんは「今回のCDには、ふるさと南富良野の歌もあり、全国の皆さまへ、歌でふるさと自慢をたくさんしたいと思います。大変な日々を乗り越えていただけたよう元気と感謝を込めて歌わせていただきましたので、頑張ります。応援どうぞよろしくお願いたします」と話されています。



なお、新曲は各CD店やインターネットで価格1350円(消費税込)で販売していますので、ぜひ皆さんもお聞きになってはいかがでしょうか。

## 引き継がれる地域の風習

防災訓練、避難情報

まちの話題・出来事

国民健康保険税

町議会定例会  
行政報告・教育行政報告

ほのお

カメラレポート

子育て支援センター  
だより

## 要申請 勤め先の都合で離職された方（非自発的失業者）

次の要件に該当する方は、前年の給与所得を100分の30とみなして所得割を計算します。  
 軽減期間は失業した日の翌日の属する年度から翌年度末までです。

離職時点で  
65歳未満



雇用保険受給資格者証の「離職理由」が以下のコードに該当  
 11・12・21・22・23・31・32・33・34

## 申請不要 所得の少ない世帯

所得が次の基準以下の世帯は、「均等割」と「平等割」について、軽減措置があります。世帯主（納税義務者）と世帯の国民健康保険加入者の合計所得金額で判断します。

- 7割軽減 世帯の総所得 ≤ 43万円+10万円×（給与所得者等の数-1）
  - 5割軽減 世帯の総所得 ≤ 43万円+28.5万円×加入者+10万円×（給与所得者等の数-1）
  - 2割軽減 世帯の総所得 ≤ 43万円+52万円×加入者+10万円×（給与所得者等の数-1）
- ※今年度、軽減対象所得算定について、下線部分が改定されています。

## 要申請 新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した方

感染症の影響で世帯の主たる生計維持者（世帯主）の事業収入、給与収入等の減少（前年比3割以上減少）が見込まれる世帯の場合、国民健康保険税の減免を受けることができます。詳しくは、広報お知らせ版8月1日号をご覧ください。

### 保険税は忘れずに納めましょう

国民健康保険は、加入者のみなさんにご負担いただいている保険税の収入で成り立っています。いざというとき、みんなが安心して医療サービスを受けられるように、納期限までに納付してください。

○納税は便利な口座振替で！

旭川信用金庫、ふらの農協、ゆうちょ銀行であなたの指定する口座から国民健康保険税を自動的に振替（引落し）することができます。

各金融機関・総務課税務係窓口申込用紙が備え付けてありますので、指定する口座の印鑑、通帳と納税通知書を持参のうえお申し込みください。

【問い合わせ先】

◆国民健康保険税について  
 総務課税務係  
 ☎52-2101

■国民健康保険の届出・医療について  
 保健福祉課介護医療係  
 ☎52-2211

## 宝くじ公式サイトでも宝くじを購入できます!!

特典1 たまる!つかえる!宝くじポイント  
 宝くじの購入で100円につき1ポイントの宝くじポイントが獲得できる!  
 .....  
 宝くじ公式サイトや宝くじ売り場で1ポイント1円としてつかえる!

特典2 購入～受取までネットで完結!  
 24時間いつでも宝くじの購入可能!  
 抽せん結果も宝くじ公式サイトで確認!  
 .....  
 当せん金は、登録した受取口座に自動でお振り込みするので、とっても便利!

特典3 宝くじ会員限定のキャンペーンに参加できる!  
 .....  
 他にもお得な特典や便利なサービスいろいろ!  
**今すぐ会員登録!**



本件に関するお問い合わせ先

宝くじコールセンター ☎0570-01-1192 (ナビダイヤル 有料) ☎011-330-0777 (有料)  
 受付時間 10:30～18:30 (土・日・祝日、年末年始を除く) ※電話番号を十分ご確認の上、おかけ間違いのないようお願いいたします。



# 皆さんの健康を支える 令和3年度 国民健康保険税のあらまし

## 納税義務者は世帯主

世帯主が他の健康保険に加入していても、家族が国民健康保険に加入している場合、納税義務者は世帯主になります。ただし、税額の計算は国民健康保険加入者のみが対象です。

## 加入・脱退は必ず届出を

国民健康保険への加入・脱退の手続きは、本人等による届出が必須です（会社等では行いません）。異動があった日から14日以内に保健福祉課介護医療係にて手続きを行ってください。

## 国保税は3つで構成

国民健康保険税は医療分、後期高齢者支援金分（以下:支援金分）、介護分の3つで構成されています。

## 計算方法と税率

医療分、支援金分、介護分それぞれについて税率が定められています。所得割、資産割、均等割、平等割を足したものが国民健康保険税の額です。年度途中で国民健康保険に新規加入・脱退したときは、月割で税額が計算されます。

- 40～64歳の方（介護第2号被保険者）  
 国民健康保険税＝医療分＋支援金分＋介護分
- 上記以外の方  
 国民健康保険税＝医療分＋支援金分

- 医療分…国民健康保険加入者の医療費に係る負担分
- 支援金分…後期高齢者医療保険制度を支援するための負担金
- 介護分…40～64歳の方の介護保険料分

区分	計算方法	医療分	支援金分	介護分
①所得割	「前年所得-43万円」×税率	6.70%	1.90%	1.10%
②資産割	固定資産税の税額×税率	40.00%	10.00%	10.00%
③均等割	加入者1人当たり「定額」	18,000円	5,000円	6,000円
④平等割	1世帯当たり「定額」	24,000円	7,000円	4,000円
賦課限度額	①～④の合計に対する限度額	630,000円	190,000円	170,000円

# 町議会定例会

## 行政報告・教育行政報告

令和3年6月21日に開催されました町議会第2回定例会において、池部町長が7件の行政報告と岩淵教育長が3件の教育行政報告を行いました内容についてお伝えします。

### 町長の行政報告



#### ■新型コロナウイルス感染症対策等について

本町の新型コロナウイルス感染症防止対策につきましては、国における新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針に基づき、

北海道で示す対策と町独自の対策を実施するなかで感染症防止対策を進めているところであり、国内では新型コロナウイルスの変異株の影響もあり、新規感染者が急増するなか、令和3年4月1日に宮城県、大阪府、兵庫県、3府県にまん延防止等重点措置の指定がされ、その後も全国的に新規感染者数が増加するなか、4月23日には、東京都、京都府、大阪府、兵庫県の4都府県に緊急事態宣言が発令され、北海道でも札幌市や周辺自治体を中心に新規感染者数が増加、全道的な広がりが見られるなか、5月7日にまん延防止等重点措置区域に、5月16日に緊急事態宣言が発令されたところであり、

緊急事態宣言の発令を受けて北海道では、札幌市、小樽市、石狩総合振興局管内の市町村及び旭川市を特定措置区域に指定し、人と人との接触機会を徹底的に低減するための要請が出されたところであり、不要不急の外出を控えるほか、酒類又はカラオケを提供する飲食店への休業や飲食のみを提供する店への時短要請、テレワークの活用や休暇取得の促進等により出勤者の7割削減、1,000平方メートルを超える商業施設等への時短要請や土・日・祝日の休業を要請し、特別措置区域以外の市町村については、酒類の提供を7時まで、営業時間を8時までとする時短営業が要請されたところであり、

町といたしましては、南富高野町新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、緊急事態宣言における公共施設の利用方針や行事、会議等に関する方針を定め、商工会に対しましては、対策への協力要請、住民の皆様には、注意喚起のチラシを配布し新型コロナウイルス感染症の防止対策への協力をお願いしたところであり、

本町におきましては、本年度中に65歳以上を迎える町民の方805人のうち高齢者福祉施設の入所者及び障害者福祉施設の利用者を除く690人の町民の方に、4月上旬にワクチン接種の意向調査を行い、ワクチン接種の準備を進めてきたところであり、

終える予定となっております。

また、障害者福祉施設の利用者及び職員のワクチン接種につきましては、4月15日に施設職員との調整を行い、1回目を5月23日から27日まで、2回目を6月13日から17日までに、利用者188人、職員117人の接種を終えたところであり、

これまでに、2回の接種を終えた高齢者605人、障害者福祉施設利用者188人、職員等207人、合計1,000人となり、町立幾寅診療所の接種が順調に終了すると合計1,050人の接種が終えることとなります。

また、2回の配分を受け、ワクチンが残っているため、60歳から64歳までの方と65歳以上で接種を希望していない方で接種希望に変わった方のワクチン接種を、6月22日に下金山多目的センターで、23日に保健福祉センターみなくるで1回目の接種を行い、7月13日、14日に2回目の接種を終え、60歳以上で希望された町民皆様の接種を完了する予定となっております。

今後、59歳以下の対象となる全年齢のワクチン接種につきましては、ワクチン接種の意向調査を行い、国からのワクチン配分を受け



新型コロナウイルスワクチン接種

次第、町内の医療関係者及びワクチン接種従事者との調整を進め、速やかに町民の皆様へ接種できるよう取り進めてまいりますので、町民皆様並びに従業員を雇用されている各事業所のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、ワクチン接種にご理解とご協力を頂いております町内の医療関係者の皆様に、今後とも引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

町内各事業所等を対象とした唾液によるPCR検査の実施について事業所内における感染防止、飲食店の安心・安全を確保することによる社会経済の回復を目指す、さらには、新型コロナウイルス感染症防止対策の一環として、4月から9月ま

での6ヶ月間、月1回の唾液によるPCR検査を、町内の希望される事業所に勤務される職員を対象に実施しているところであり、実施にあたっては、町商工会の会員には、商工会を通じ周知を行い、会員以外の事業所等には、各事業所を訪問し取組みの趣旨等の説明を行って来たところであり、

4月に実施いたしました事業所数は40事業所で、6月からは、南富高野高等学校の生徒につきましてもPCR検査の対象とし、生徒や保護者、教職員が安心して高校に通える環境を目指し取り組んでまいります。

今後も新型コロナウイルス感染症まん延防止を図るため、希望する事業所につきましては、随時追加し検査を行うとともに、新型コロナウイルスワクチン接種を希望する対象者が全て接種し終わるまで、継続して取り組んで参りたいと考えております。

■町立診療所の運営について  
町立診療所の運営につきましては、平成16年8月1

の皆様には、度重なる休業や時短営業の要請を受け大変厳しい経営環境にあるなか、ご協力を頂いたことに感謝を申し上げますとともに、町民の皆様には、新型コロナウイルス感染症の抑止を図るため、これまで実践されてきましたマスクの着用と手洗いや手指消毒を徹底し、感染予防に向けた継続的な取り組みをお願い致します。

また、新型コロナウイルス変異株の影響から、全国的に感染が拡大している状況のなか、感染のリスクは誰にでもあります。感染者やそのご家族、関係者の方々に対して不当な取り扱いをする、インターネット上やSNS等による誹謗中傷の書き込み、差別や嫌がらせ、いじめ等については決して許されるものではありません。町民一人ひとりがお互いに思いやる気持ちをもって感染対策を行って頂きますよう町民皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

日より金山、落合診療所長として、平成22年4月から

は幾寅診療所所長も兼ね、経営体系の一体化や患者数の実態に応じた診療体制の再構築を進めるなど、地域住民の健康増進と地域医療にご尽力を頂いておりました。中村義博医師が本年3月31日で退任されました。17年間の永きにわたり、医療行政にご尽力を賜りましたことに心から感謝とお礼申し上げます。

後任の黄士哲医師につきましては、初山別村立初山別診療所所長として勤務されておりましたが、医師2名体制での地域医療に努められており、この度の本町の医師募集の現状に触れ、本町での地域医療に決意をいただいたところであり、黄医師につきましては、初山別村との契約が8月までであったことから、当初本町への赴任は9月を予定していたところであり、

初山別村長と黄医師のご理解のもと、本町の医療事情や診療所における医師不在の状況と診療体制等にご理解を頂き、4月から5月までの間に、初山別診療所の出張医として、町立診療所で勤務を頂き、6月1日より正式に町立診療所長としてお迎えすることとなりました。

黄医師におきましても、引き続き3診療所を運営し、町民の健康増進と地域医療を推進してまいりますので、町民の皆様並びに議員各位のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

黄医師におきましても、引き続き3診療所を運営し、町民の健康増進と地域医療を推進してまいりますので、町民の皆様並びに議員各位のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

■第50回かなやま湖湖水まつりについて  
令和3年度第50回太陽と森と湖の祭典かなやま湖湖水まつりの開催については、過日、実行委員会が開催され、開催の概要について決定されましたので報告いたします。

本年は、昭和47年の第1回湖水まつり開催から50回目となる節目の記念すべき開催であるとともに、合わせて新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながらの開催となるため、開催日については、7月10日から9月19日までの土曜日と日曜日のうちの10日とし、内容は、打ち上げ花火やデビュー35周年を迎える南富高野町観光大使の石上久美子さんや北海道出身タレントによるミニライブ、アウトドア体験など、町民皆様とキャンプ場等利用客を対象にして開催することに決定されました。

開催にあたりましては、新型コロナウイルス感染症防止対策に基づき、イベント

開催にあたりましては、新型コロナウイルス感染症防止対策に基づき、イベント

開催のガイドラインを遵守するとともに、混雑を避けソーシャルディスタンスを図る観点からキャンパス利用客を予約制にして最大200組、800名の利用者数の上限を設定し開催することにいたしました。

また、期間中に緊急事態宣言や本町がまん延防止等重点措置区域に指定された場合はもとより、新型コロナウイルス感染症防止対策上必要な措置と認められる場合には、イベントの中止も含めて適切に判断することをお願いいたしましたので、町民皆様と議員各位のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

### 北海道ガス株式会社との地域包括連携協定について

去る6月11日、南富良野町と北海道ガス株式会社が緊密な相互連携のもと、森林や河川などの地域資源活用とエネルギー地産地消の促進により、地域の活性化と安全・安心・快適に暮らせるまちづくりなどを進めることを目的とする包括連携協定を締結いたしました。

この協定には、地域の再生可能エネルギーを活用したエネルギー地産地消の促進、道の駅を中心とした地域の公共施設等の災害強靱

性向上、森林及び関連する産業の維持発展の3項目が連携事項として掲げられており、全道の自治体や企業、大学など、本町は11団体目となり、自治体では夕張市・上士幌町・豊富町・函館市に次ぎ5か所目となります。

本町と北海道ガス株式会社との関係は、平成28年の豪雨災害以降、復興を目指し地産地消を取り入れた道の駅エリアの事業化に向けた検討や、二酸化炭素の排出抑制に向けた町内事業所のポテトチップス製造工場「シレラ富良野」に液化天然ガス(LNG)の導入促進などを協力し進めてまいりました。

この協定を契機として、相互の連携を強化させていただき、南富良野町の豊かな自然環境を生かした再生可能エネルギーの活用やエネルギー地産地消の促進を通じて、道の駅再編整備を中心に地域活性化に向けた活力あるまちづくりに大きく貢献していただけるものと期待するところであります。

**放課後児童クラブについて**  
児童福祉法に規定する放課後児童健全育成事業として、南富良野小学校の1年生から3年生の児童を対象として、4月より運営を開始したところであります。

## 教育長の教育行政報告



### 令和3年度小中高等学校における学級編制及び指導体制について

はじめに、本年度の児童生徒数に基づく学級編制は、南富良野小学校では4年生及び5年生が複式学級となり、普通学級が5学級、特別支援学級が3学級で児童数は88名、南富良野小学校では普通学級が3学級、特別支援学級が1学級で児童数は20名、南富良野中学校では普通学級と特別支援学級がそれぞれ3学級で児童数は37名、南富良野高等学校では各学年1学級で生徒数は28名、児童生徒数合計で173名となり、前年度より8名減となりました。

教職員体制につきましては、学級数及び児童生徒数に基づき、校長・教頭・一般教職員を含め南富良野小学校では16名、南富良野中学校では8名、南富良野中

学校では16名、南富良野高等学校では13名が配置され、合計53名により児童生徒の指導にあたっているところであり、また、学習支援員を小中高等学校合わせて5名配置し、支援を必要とする児童生徒への指導の充実を図っております。

### 緊急事態宣言中における各学校の活動状況等について

新型コロナウイルス感染症対策として、国は北海道を5月16日から31日まで緊急事態措置の対象とし、その後新規感染者数は高い水準が続いたことから、6月20日まで延長となり、全域で徹底して対策を講じることとなりました。教育委員会といたしましては、集団生活の場である学校において、最大限の感染予防対策を図るとともに、家庭との連携強化として、保健所等の指示により児童生徒がPCR検査を受けることになった場合には、学校に対し情報提供をお願いし、学校における感染拡大防止を徹底しながら、児童生徒の学びを保障するため、地域の感染状況を踏まえ、可能な限り授業や各種行事等を継続するよう取り組むことといたしました。

小中学校では、昨年度は



現在、55名の児童に入室いただき、延べ6名の支援員により、授業終了後の適切な遊び及び生活の場を提供しております。

開所して2か月となりますが、平均しますと毎日40名ほどの子どもたちが、授業終了後に放課後児童クラブに来て、宿題をしたり、友達と遊んだりして元気に過ごしているところであり、新型コロナウイルス感染症対策につきましても、玄関での手指消毒、室内の換気、児童退所後の室内消毒などを徹底し、引き続き保護者の皆さんから安心して子どもたちを預けていただけています。

中止となりました運動会並びに体育祭については、種目を減らすなど時間短縮を図り、観覧者は町内の家族に限定するなど感染対策を講じ、南富良野中学校では5月31日に、南富良野小学校では6月6日に、南富良野小学校では6月13日にそれぞれ実施いたしました。

また、昨年度中止となりました北海道高等学校カヌー選手権大会が6月3日、4日かなやま湖において、感染予防ガイドラインに沿って、開閉会式の取り止めや参加者への2週間前からの検温を含む健康観察記録の提出を求めると、感染予防対策を徹底して開催されました。

沖縄県本部町親善交流事業につきましては、昨年度はコロナ禍において実施することが出来ず、本年度は昨年訪問予定でありました小学1年生と、今年対象の小学6年生を7月12日から16日の日程で訪問すべく準備を進め、6月18日を期限として有無を判断することとしておりましたが、沖縄県への緊急事態宣言の発令を受け、児童生徒の健康と安全を第一に考え、7月の訪問は中止することといたしました。今後、感染の収束が見られた段階で、実施の判断を検討してまいります。

**森林への入林に対する注意事項について**  
町内においては、3月下旬に幾寅市街地においてヒグマと思われる足跡が発見され、4月から5月に入りヒグマ目撃情報が多くなり、特に金山地区では国道沿いの農地でヒグマの目撃情報が多く寄せられたことから、町と警察により、金山地区住民に注意喚起を実施するとともに、猟友会に要請し2頭を駆除いたしました。

なお、現在までの町内の駆除状況であります。幾寅地区で2頭、金山地区で3頭、北落合地区で1頭と合計6頭駆除を行っており、例年に比べ早いペースで駆除頭数が増えております。

町内では、人身事故は起きておりませんが、道東の厚岸町では死亡事故が、隣の富良野市西達布ではハントアが襲われ負傷するなどの事故も起きております。

町としては、広報お知らせ版でも注意喚起を周知しておりますが、山菜採りや散策などで入林する際には鈴やホイッスルの持参や臭いの強い食べ物を持たないなどの対策に充分注意していただきたいと思います。

なお、今後も熊出没看板の設置などの出没情報の提供を行うとともに、猟友会とは関係機関と

ます。南富良野高等学校生徒への感染予防対策につきまして、部活動の大会参加や就職活動、進学に向けたオンラインキャンパスの見学など生徒が旭川市近郊や札幌圏へと行動範囲が広がってまいります。

全国の感染症の蔓延状況や、ワクチン接種の進捗状況などを踏まえ、現在実施しております教職員と同様に、生徒28名全員を対象にPCR検査を実施すること、高等学校全体の安全と安心に繋げることができると判断し、6月より当分の間、毎月1回南富良野高等学校生徒へのPCR検査を実施することといたしました。

### 学校の部活動について

去る6月11日旭川市で13市町村の中学生が参加する上川南部地区中学校体育連盟陸上競技大会に3年生男子1名が出場し、走り高跳びで大会記録を更新して第2位となり、7月27日から帯広市で開催されます第52回北海道中学校陸上競技大会に出場することとなりました。

南富良野高等学校では、5月2日富良野市で開催された第76回国民体育大会卓

球競技富良野支部予選会に3年生女子1名、2年生男子1名がそれぞれ少年シנגルスに出場し、3年生は第3位に、2年生は第5位に入賞し、7月30日から北海道市で開催される北海道予選会に出場することとなりました。

また、6月3日・4日日本町を会場に開催された第16回北海道高等学校カヌー選手権大会北海道予選会には、カヌー部男子4名が出場し、200m並びに500mともに、カヤック2人乗り及びカヤック4人乗りで優勝し、8月17日から福井県あわら市で開催される全国高等学校総合体育大会カヌー競技に北海道代表としての出場権を獲得いたしました。





コロナに負けずにハツラツと！ 新型コロナウイルスへの感染予防を...



7月2日〜3日に行われた学校祭は、一般公開を行わない小規模な形で実施...

富良野消防署南富良野支署 しょうぼう広報 ほのお

いざという時のために！

もし、あなたの大切な人が目の前で倒れ、呼吸・心臓が停止してしまつたら...

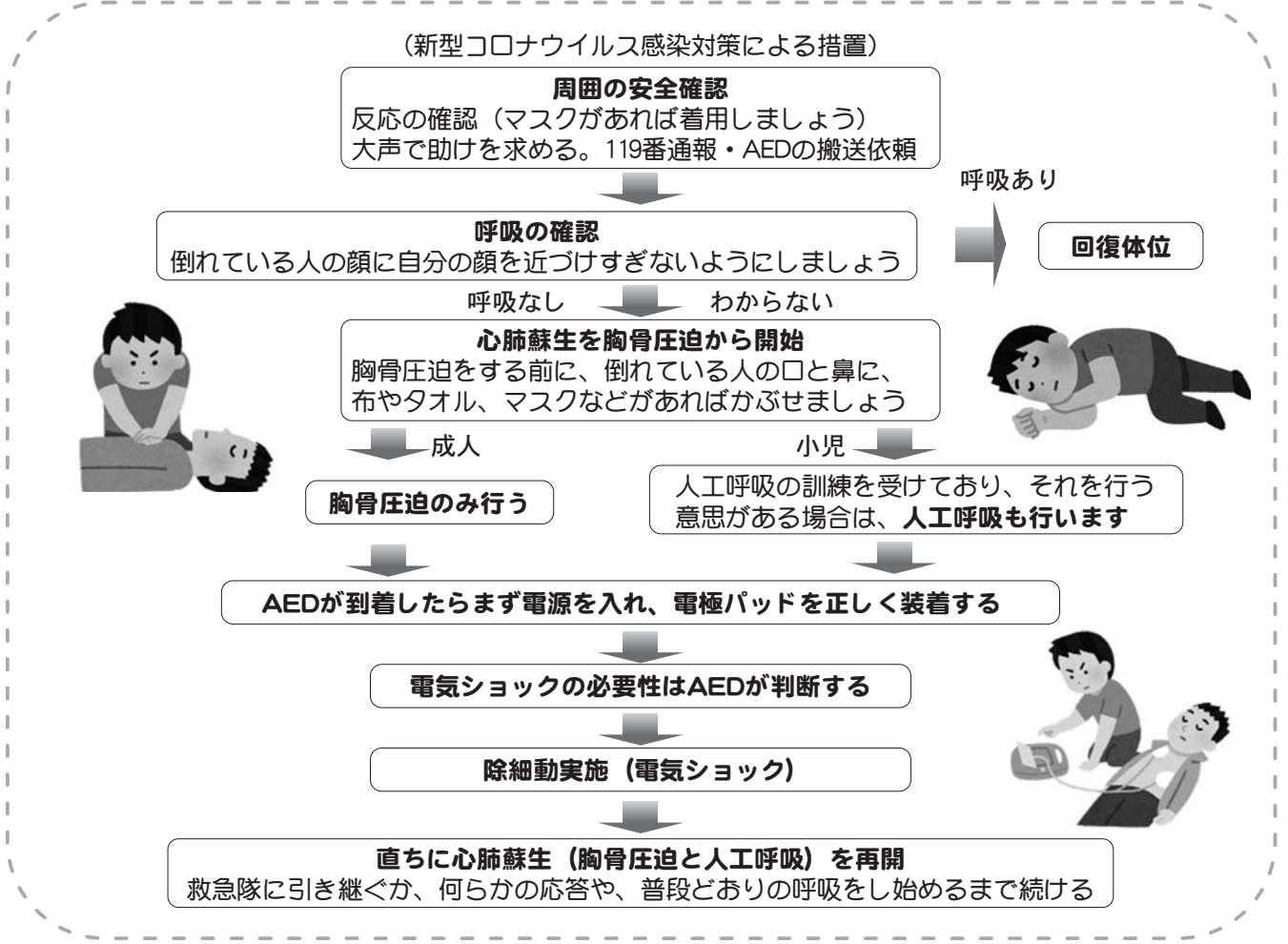


Table with 3 columns: 講習の種類, 時間, 講習内容. Lists various CPR and AED training courses.

南富良野支署出動件数 (令和3年1月1日~6月30日実績) 救急出動 45件...

男性・女性消防団員募集！ 消防団に関することは消防係まで

シリーズ学校だより(221)

各学校の取り組みを紹介します。

南富良野小学校



自分をより高めようとする 南富つ子を目指して 南富小は、4月に1年生28名...



新型コロナウイルスによる非常事態宣言の延長という情勢であつたため、地域の皆様をお招き...

防災訓練、避難情報 まちの話題・出来事 国民健康保険税 町議会定例会 行政報告・教育行政報告 ほのお カメラレポート 子育て支援センターだより

道の駅「南ふらの」再編整備工事着手 まちの話題・出来事 国民健康保険税 町議会定例会 行政報告・教育行政報告 南富高新聞 学校だより カメラレポート 教育委員会通信

## ブルリッジようこそ (6月26日)

野球独立リーグ「北海道ベースボールリーグ」の公式戦、富良野地域球団のブルーリッジ対石狩レッドフェニックスの試合が湖畔野球場で行われました。

野球場には、町内外から約120人が訪れ地域球団であるブルーリッジの応援が行われました。試合の結果は、熱戦の末、残念ながら0対5と敗れましたが、始球式には「幾寅タイガース」主将の小林瑛介君が務めたほか、試合後には同チームの子どもたちと選手のキャッチボールや、試合前のエアロビックなどで交流が図られ、訪れた皆さんは、ブルーリッジ試合に満足をしていました。



## 各学校でカヌー体験学習を実施 (6月2日～6月29日)

町内各小学校、中学校、高等学校の授業で、かなやま湖でのカヌー体験学習が行われました。

この学習は、本町の恵まれた自然環境を活用し例年行われているもので、児童や生徒の皆さんは、カヌーの楽しさを学ぶだけでなく、カヌー体験を通じて人との触れ合いを図り、コミュニケーション能力や自主性・協調性を自然の中で育てていました。



## JR体験乗車 (7月6日)

南富良野小学校の3・4年生26名は、引率の教職員とともに、遠足の目的地へ向かう交通手段として、東鹿越駅から山部駅までの区間でJR体験乗車を行いました。

初めてJRに乗車した児童もいて、コロナ禍における乗車マナーや下車時の運賃の支払い方など、地域を支える公共交通について学びました。

なお、利用運賃については、根室本線対策協議会より全額助成を受けています。



## 交通安全旗の波作戦 (6月25日・7月13日)

7月から本格的な観光シーズンを迎えるにあたり、町交通安全協会、町交通指導員協議会、駐在所、幾寅寿クラブ、幾寅婦人会が、交通安全の旗の波作戦を実施しました。

この運動は、6月25日無事故の日になみ、富良野沿線の市町村がリレー方式で旗波作戦を実施し、広範囲による交通安全の啓発であり、参加した皆さんは町民体育館の前で旗を振り、通過する車両に無事故を呼び掛けていました。

また、7月13日には夏の交通安全運動の一環として、交通安全を呼び掛ける旗の波作戦が、道の駅の前で同様に実施されました。



このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係(☎52-2115)(FAX52-2922)までお知らせください。

# カメラレポート CAMERA REPORT

## エジンバラ公の森で環境学習 (6月24日)

南富良野小学校では、毎年3年生の環境学習として、上川総合振興局や町森林組合、町産業課の協力のもと、エジンバラ公の森で森林学習を行っています。

本年度は15名の児童が、設定された「木と触れ合う。感性を磨く。木に学ぶ。」の三つのキーワードをもとに、樹木や昆虫を観察しました。

児童の皆さんは、樹木や昆虫などの名称を指導者に積極的に尋ね、真剣な眼差しで説明を聞いていました。



## 消防災害応用訓練の実施 (6月16日)

富良野広域連合富良野消防署南富良野支署が、水害や水難事故における救助技術の向上を目的とした災害応用訓練をかなやま湖で行いました。

隊員達は、災害時の情報収集を行うドローンの操縦や、救助用ゴムボートの操縦訓練を行い、湖で溺れている要救助者を引き上げる実践的な救助訓練にも真剣に取り組んでいました。



## 人権の花運動 (南富良野小学校6月23日・南富良野西小学校6月25日)

人権啓発運動の一環として、次代を担う児童が、花苗の植樹と育成を通じて生命の尊さを実感し、その中で豊かな心を育むことを目的として、山下勝子人権擁護委員と町職員が町内各小学校を訪れ、人権の花苗を贈呈しました。

色とりどりの人権の花苗は、南富良野小学校の4・5・6年生の児童で102株、南富良野西小学校の全校児童で78株が、用意されたプランターの一つひとつ丁寧に植えられました。また、贈呈式では、山下勝子人権擁護委員から児童に、優しさと思いやりの心の大切さなどが話されました。





日差しが強くなりやっとな夏を感じる季節になりましたね。子育て支援センターの活動も再開して、野外での活動が始まりました。  
子ども達の笑顔がキラキラ輝く楽しい活動にしていきます！

☆0歳・1歳ぷっこ☆



みんなでお散歩。小学校で一休み。  
消防支署にも立ち寄りしました。

☆ぷっこクラブ☆



かなやま湖でカヌー体験。快晴で水辺が気持ちよかったです～！

☆ぷっこクラブ☆



保育所の園庭の砂場やすべり台で遊びました。  
よーいどん！で、かけっこもしましたよ。

保育所の元気な子どもたち

幾寅保育所

6月26日、運動会を行いました。子どもたちは、この日のために、たくさん練習を行い、当日は、みんな暑い中、保護者の皆さんに見守られ、最後まで力いっぱい頑張り練習の成果を十分に発揮していました。



金山保育所

6月下旬頃、ひまわり組で自然体験を行いました。カヌーや釣り、ハスカップ摘みなど、自然の中での楽しみ方を体験することができました。特に釣り体験が楽しかったようで、体験後も「またやってみよう！」と嬉しそうに話すひまわり組さんでした！



小・中学校におけるICT（情報通信技術）を使った学習について

①タブレット端末を使った学習について

文部科学省でのGIGAスクール構想実現のため、令和2年度において1人1台のタブレット端末を整備し、4月から小・中学校の全児童生徒が活用しています。  
インターネット等を用いて「調べ学習」を行うほか、臨時休校となった場合でも、各家庭に持ち帰りオンラインで授業等を行えるよう児童生徒の学びの保障を行っていきます。



南富良野西小学校の様子

GIGAスクール構想とは…

1人1台端末を活用し、子どもたち1人ひとりの理解度を踏まえたもの。  
相方向指導が可能となり個人に応じた指導にから、子どもたちの能力を最大限に引き出すための取組

②デジタル教科書について

文部科学省における令和3年度「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」として小・中学校にデジタル教科書を導入しています。  
学習者用デジタル教科書は、拡大縮小、共有、反転、検索、保存など紙の教科書では出来ないことが可能となるほか、動画やアニメーションのほか、音声読み上げ機能により特別な支援を必要とする児童生徒の学習にも活用できます。

＜学習者用デジタル教科書＞



紙の教科書

学習者用コンピュータ

③電子黒板について

電子黒板では、画面に直接書いたり消したりすることが出来るほか、教師用端末の画面をそのまま謄写して児童生徒の学習を深めるため、小・中学校に導入いたしました。  
オンライン授業等でも、児童生徒の様子を大画面（65インチ）で確認出来るほか、通常の授業でも板書の文字が見やすくなりました。（画面の文字の拡大が可能です）  
今後は、タブレット端末やデジタル教科書を併用しながら、児童生徒の学力向上を図っていきます。



南富良野小学校の様子

## 南富良野町の緑化環境の推進を願っての寄附金

7月14日(水)、滝川市の市民団体「緑とエコサポーターネット」松原 章・堀下 博正 副会長が役場を訪れ、町へ10万円を寄附されました。

寄附金は、同会が約20年にわたり植樹活動が続けてきた中で、本町と空知川の上流域と下流域の関係から、毎年、水源の森創造交流会として、かなやま湖畔で植樹事業を共同で行ってききましたが、本年、同会が解散することになり、今までともに植樹活動を行ってきた本町の緑化環境の推進を願ってのものです。



### 寄附・寄贈

次の方々から寄附・寄贈がありました。皆さんのご厚志に対し紙上をもって厚くお礼申し上げます。

南富良野町へ

○広島県広島市 大居芳雄様より

町の振興に活用する寄附として

二万円

一味園・からまつ園・こぎくら園・

ふくしあへ

○幾 寅 河 原 澄 和 様

○幾 寅 松 井 正 則 様

○下 金 山 石 川 幸 則 様

○下 金 山 小 蕎 重 一 様

○占 冠 村 坂 東 寿 美 子 様

○富良野市 白澤 英二 様

○富良野市 後藤 宗男 様

○旭川市 板垣 恵美子 様

○芽室町 辻 経之 様

○士幌町 神野 光男 様

○豊頃町 末永 美子 様

○札幌市 津田 勝明 様

○岩手県 相蘇 紀代美 様

### ☆お誕生おめでとう

幾 寅 大 浦

ひかる 輝

令和3年6月9日生まれ

### ★お悔やみ申し上げます

幾 寅 高 橋 すみ子(69)

令和3年6月5日逝去

金 山 後 藤 義 美(88)

令和3年6月10日逝去

金 山 相 蘇 時 子(87)

令和3年6月12日逝去

### 南わたしたちのまち

(令和3年6月末日現在)

人 口 2,359人(△1)

男 1,204人(△2)

女 1,155人(△1)

世帯数 1,324戸(△1)

( ) 内は前月比